

正誤表

平成 18 年 9 月 26 日

頁	誤	正
P.18	<p>【解説】 (2) について 構造物の耐震性能は、「鉄道構造物等設計標準・同解説 耐震設計」に準じて定めるものとし、L1 地震動に対しては耐震性能 I を、L2 地震動に対しては耐震性能 II を満足するものとする。したがって、A&P 耐震補強工法で補強された柱部材の損傷レベルは、L1 地震動に対しては損傷レベル 1 を、L2 地震動に対しては損傷レベル 3 以下となるように定めるものとする。</p>	削除
P.22	<p>(1) について 補強部材は、L1 地震動に対しては損傷レベル 1 を、L2 地震動に対しては損傷レベル 3 以下を満足することを原則とする。</p>	削除